



平成29年度
桂雪会 総会資料

日時 平成29年5月20日（土）
場所 ホテル ほていや



飯山高等学校桂雪会

桂雪会役員名簿

顧問	大沼 淳	池川 信夫	岩崎 彌	猪瀬 清徳
会長	森 司朗			
副会長	関 保典	赤津 安正	長坂 邦彦	柳澤 萬壽雄
副会長	宮本 衡司	内山 英樹	吉越 英子	上松 猛
副会長	小林 厚子	太田 良夫		
監事	佐藤 清	上松 敬		

学校関係役員

校長	渡辺 藤夫	
教頭	清水 久樹	
事務長	山内 浩	
幹事	小林 幸太郎	事務局長・総務・支部組織課・名簿作成・生徒指導助成・クラブ活動支援
幹事	大熊 文久	次長・総務・教育環境整備・文化教育施設（同窓会館）建設検討・桂雪アカデミー
幹事	小島 静一	桂雪会報・生徒指導助成・クラブ活動助成・スクールバス
幹事	矢崎 悠喜	支部組織課・桂雪会名簿作成・文化教育施設（同窓会館）建設検討
幹事	丸山 大樹	総務・1年3組担任

平成29年度 桂雪会総会 次第

第一部 総会

1. 開式の辞

副会長

2. 会長挨拶

3. 学校長挨拶

4. 来賓挨拶

5. 議事

- (1) 第1号議案 平成28年度事業報告 1頁
- (2) 第2号議案 平成28年度決算報告及び監査報告 23.4頁
- (3) 第3号議案 平成28借入金の返済について 5.6頁
- (4) 第4号議案 平成29年度事業計画(案) 7頁
- (5) 第5号議案 平成29年度予算(案) 8.9頁
- (6) 第6号議案 桂雪会 支部役員(案) 10.11.12頁
- (7) 第7号議案 文化施設(同窓生交流会館)建設について(案) 13.14.15頁
- (8) 題8号議案 飯山高校校歌・田井安曇先生歌碑 除幕式について(案) 16.17.18頁
- (9) その他

6. 閉式の辞

副会長

第二部 講演会

講師 田井安曇先生を偲ぶ

綱手短歌会 編集人

柳川創造先生

講師略歴

1925年(大正14年)山口県生まれ。旧制広島高等師範国語漢文科卒業後、雑誌編集者を
経て映画・テレビ・学習漫画のシナリオ等を執筆。1943年「アララギ」入会。48年退会。
以後歌作中断。78年「未来」入会し歌作を再開。88年、田井安曇とともに「綱手」創刊。現
代歌人協会会員。主著『万葉悲歌の旅』『古代歌謡』。歌集に『冬の挽歌』、『晩夏』がある。
現在、「綱手」編集人

第三部 懇親会

平成 28 年度 桂雪会 事業報告

1 総会

平成 28 年 7 月 16 日 (土) 飯山高等学校大講義室

2 役員会

第 1 回 平成 28 年 5 月 23 日 (月) 飯山高等学校

(統合完成・校舎竣工記念式典準備会を含む。)

第 2 回 平成 28 年 10 月 13 日 (木)

第 3 回 平成 29 年 1 月 27 日 (金)

3 統合完成・校舎竣工記念式典

(1) 式典 平成 28 年 6 月 18 日 (土) 飯山高等学校大体育館・斑尾高原ホテル

(2) 新聞広告 平成 28 年 6 月 11 日 (土) 信濃毎日新聞朝刊

4 飯山高等学校紹介

平成 28 年 6 月 25 日 (土) NBS 長野放送

5 城北グラウンド内野整備

(1) 平成 28 年 8 月実施

(2) 総工費 3,500,064 円

(3) 城北グラウンド竣工記念招待試合共催 平成 28 年 11 月 5 日 (土)

6 冷暖房設備電源改修工事

(1) 平成 28 年 6 月実施

(2) 総工費 2,581,848 円

7 スクールバス事業

(1) 実施期間 平成 28 年 12 月～平成 29 年 2 月

(2) 助成金額 1,407,637 円

(3) 利用者数 (延べ人数) 2,919 名

8 生徒指導・クラブ活動助成事業

(1) <故郷>四番プロジェクト全国高校生大会への助成

平成 28 年 12 月 25 日 (日)～26 日 (月) 兵庫県洲本市

(2) 懸垂幕の掲出

(3) 北信越高等学校野球大会応援支援

(4) スキー部凱旋パレード共催

9 校歌・歌碑助成事業

第 1 期助成 200,000 円

10 寄宿舍管理事業

(1) 期 間 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月

(2) 内 容

ア 寄宿舍休日管理

イ 栄養指導

桂雪会飯山高校支援金について

1 経過

平成 29 年 5 月 20 日現在の桂雪会飯山高校支援金の収支状況は次のとおりです。

項 目	金 額	備 考
寄付受納総額	3, 628, 075 円	
支出総額	800, 000 円	平成 28 年 2 月 26 日付け 信濃毎日新聞朝刊広告掲載料 「北高魂よ、永遠なれ」
一般会計への貸付	2, 700, 000 円	
差引残高	128, 075 円	

2 桂雪会飯山高校支援金からの借入について

桂雪会飯山高校支援金から下記のとおり桂雪会一般会計において借入を行いました。

記

- (1) 借入額 2, 700 千円
- (2) 借入日 平成 28 年 10 月 26 日
- (2) 使 途 飯山高校城北グラウンド野球内野整備
- (3) 返 済 桂雪会一般会計から、平成 28 年度以降、2～3 か年の分割返済

3 桂雪会一般会計からの返済について

- (1) 桂雪会一般会計平成 28 年度末借入残高 2, 700 千円
- (2) 返済実行日 平成 29 年度総会議決終了後

平成29年度 桂雪会 事業計画 (案)

- 1 役員会、代議員会は必要により随時開催する。
- 2 学校が開催する学校評議委員会・職員歓送迎会・飯高祭・授業参観等に参加する。
- 3 桂雪会員名簿を作成する（データ化を推進する）。
- 4 桂雪会報（仮名称）を発刊する。
- 5 教育環境事業整備、同窓生交流会館建設等の推進。
- 6 教育支援授業として「教育環境の充実、学業やクラブ活動の成果向上」のための、桂雪アカデミー、スクールバス事業、生徒指導助成事業、クラブ活動助成事業を積極的に行う。
- 7 『飯山高校を育てる会』の設立に協力する。
- 8 高大連携に対する支援を充実させる。
- 9 会員相互の親睦を図る事業（ゴルフコンペ等）を実施する。
- 10 長野県の第二期再編計画に向けて地域の高等学校の将来展望について意見交換を行う。

飯山高等学校校歌碑・田井安曇歌碑除幕式

日時 2017年6月24日(土) 14時～15時

場所 長野県飯山高等学校

〒389-2253 長野県飯山市飯山 2610

電話 0269-62-4175 (代)

次第 (敬称略)

進行 清水久樹教頭

- 1 開式の言葉 (常田新司PTA会長)
- 2 経過報告 (米澤光人)
- 3 学校長挨拶 (渡辺藤夫)
- 4 桂雪会会長挨拶 (森司朗)
- 5 綱手短歌会挨拶 (井上美地)
歌碑の歌について (柳川創造)
- 6 来賓祝辞
宮本衡司 (長野県議会議員・桂雪会副会長)
長瀬哲 (飯山市教育長)
- 7 除幕
- 8 閉式の言葉 (関保典桂雪会副会長)

式後にその場で記念写真

校舎内 (図書館棟1階自由活動コーナー) に移動して「茶話会」15時～16時

講演会 日時 2017年5月20日(土) 15:30~

場所 ホテル ほていや

田井安曇を偲ぶ 『田井安曇はふるさと信濃をどう歌ったか』

講師

柳川創造先生



田井安曇先生(校歌作詞者)

1930年2月19日—2014年11月2日)

日本の歌人。本名、我妻 泰(わがつま とおる)。ペンネームの安曇は安曇野よりとっているが出身は飯山市である。クリスチャン。

旧制飯山中学校(長野県飯山北高等学校 現在長野県飯山高校)、岡崎高等師範学校(現・名古屋大学)社会科卒業。中学校の社会科教師となる。立原道造の影響で詩作を始め、のちに短歌に専念。「花実」を経て、1950年に「アララギ」中部青年の会「環」に参加。1951年には近藤芳美を中心にして創刊された短歌雑誌「未来」の創刊に関わる。岡井隆は同じく創刊メンバーである。秋村功と歌誌「河」を編集。1988年「綱手」創刊。

1984年「経過一束」

第20回短歌研究賞受賞。

2000年「田井安曇著作集」

島木赤彦文学賞受賞。

2010年「千年紀地上」

第25回詩歌文学館賞受賞。

講師 柳川創造 先生

1925年(大正14年)山口県生まれ。

旧制広島高等師範国語漢文科卒業後、雑誌編集者を経て映画・テレビ・学習漫画のシナリオ等を執筆。

1943年「アララギ」入会。48年退会。以後歌作中断。78年「未来」入会し歌作を再開。

1988年、田井安曇とともに「綱手」創刊。

現代歌人協会会員。主著『万葉悲歌の旅』『古代歌謡』。歌集に『冬の挽歌』、『晩夏』がある。

現在、「綱手」編集人。

下記の本は、学習漫画のシナリオライターとして手がけた本の一部です。



飯山高等学校校歌

作詞 田井安彦
作曲 佐藤 勇

峡の門の南の方の
走り出のよろしき山は
懐しき高柱山
やすらぎは母の膝をし
若き子をひたに迎へぬ
おお崇えあれ 飯山高校

奥信濃 城下の町に
学べよと賞しき中野
輝びとは学会を設けぬ
知の誇り処 柱を植えぬ
われらの樹 柱を植えぬ
おお崇えあれ 飯山高校

千曲川遶る瀬となり
また流み 信濃の水の
大方を北に導く
百里行き海にし注ぎ
遶く水は嘆くことなし
おお崇えあれ 飯山高校

百年に柱は育ち
水芭蕉 雪と伴ひ
新しき前途を遊ぶ
ねがはくば この樹の伸びて
雲に触れ 天を蔽へよ
おお崇えあれ 飯山高校

寂かなるこの地に生れ
深雪にも耐へて育てば
信濃子は強く直きぞ
何事か必ず遂げむ
われら皆志あり
おお崇えあれ 飯山高校

二〇一七年六月
飯山高等学校同窓会(柱守会)
桐手短歌会

信濃恋にまたしん
しんと湧き出でて
遠信濃恋にはて
しもあらず 守屋

田井安彦略歴

- 一九三〇年 長野県飯山町(現飯山市)に生まれる 本名 佐藤 勇
- 一九四八年 長野県立飯山中学(後の飯山北高校) 飯山山高校)卒業
- 一九五〇年 同県高等師範学校(現名古屋大学)卒業
- 一九五二年 東京下町の中学に赴任
- 一九八四年 「信濃一葉」で短歌研究を始める
- 一九八八年 信濃短歌社「桐手」創刊
- 一九九九年 「田井安彦著作集(全五巻)」で島本浩徳賞受賞
- 二〇一〇年 「千曲紀地上」で藤枝文子賞受賞
- 二〇一四年 水原

二〇一七年六月 桐手短歌会
飯山高等学校同窓会(柱守会)